

■発行／京都府医師会

これだけは知っておきたい
健康の知識

VOL. **38**

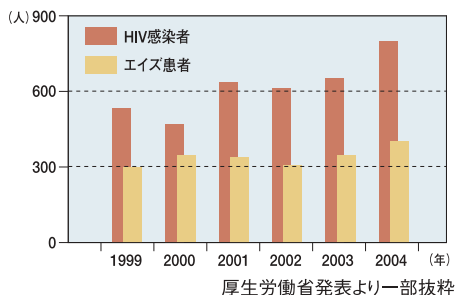
エイズ患者 **HIV感染者**

今のままでは

増え続けます

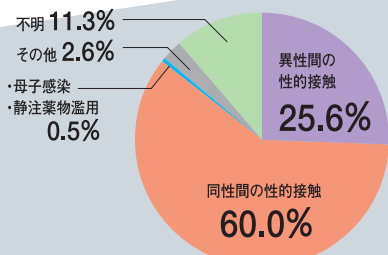
2004年、日本におけるHIV感染者・エイズ患者の新たな報告は1,000件を超え、過去最高となりました。この猛威を止めるためには、一人ひとりが正しい認識と予防方法を知る必要があります。

いま、日本では
こんなに増えています



「無関心」は
感染するのと同じくらい
怖いものです。

HIVは主に性的接触(セックス)
により感染します



■2004年に新規に報告されたHIV感染者の感染経路
厚生労働省より

感染経路で一番多いのが性的接触によるもので、全体の**86%**を占めています。自分に関係ないと思っても、感染の可能性は誰にでもあるのです。



ボクたちには関係ないよね…

HIVとエイズは違うものなのです。



(ヒト免疫不全ウイルス)

血液・精液・膣分泌物等に存在する微生物で、疾患の原因であり、病気そのものではありません。

(エイズ=後天性免疫不全症候群)

HIVに感染し、免疫力が低下することによって発症する病気。HIV感染後、平均10年ほどで発症します。



クイズ「エイズ」を知ろう!

問.1 HIV感染者、エイズ患者は世界中で増加し続けている。

答えは○です。

特に**アジア、アフリカ**で急速に増加しています。



問.2 エイズは「遺伝する病気」である。

答えは×です。

エイズは、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染することによって起こる病気で、**遺伝する病気ではありません。**



問.3 エイズは男性同性愛者だけの病気である。

答えは×です。

同性間だけでなく異性間であっても感染のリスクはありますし、商業目的の性行為によっても同様です。



問.4 HIVは水や空気の中では生きられない。

答えは○です。

HIVはとても弱いウイルスで、空気中では長くは「生きて」られず、水にも簡単に洗い流されてしまうのです。



問.5 HIVに感染した人を「エイズ患者」という。

答えは×です。

HIVウイルスに感染しているけどエイズを発症していない方は「HIV感染者」といいます。

問.6 HIVは主に性行為、出産や母乳、血液(注射の回し射ち)等により感染しますが、このうち一番多いのは性行為感染である。

答えは○です。

日本では性行為感染が**7~8割**と大半を占めています。

問.7 HIVに感染した人の血を吸った蚊に刺され、HIVに感染してしまった人がいたことがある。

答えは×です。

HIVは蚊やダニ、その他の人間の血を吸う**虫からは感染しません。**蚊やダニは人の体から血液を吸うだけで、血液を注入することはできません。



問.8 HIVに感染している人と一緒に食事をしたり、回し飲みをしたりする行為は若干ながら感染する可能性がある。

答えは×です。

HIV感染に十分な量が含まれているのは①血液②精液・膣分泌液③母乳です。その感染力はとても弱く、HIV感染者との無防備なセックスをのぞけば、**日常生活での感染はありません。**



問.9 HIVに感染している人は、共同浴場などではできるだけ利用しないほうがよいとされている。

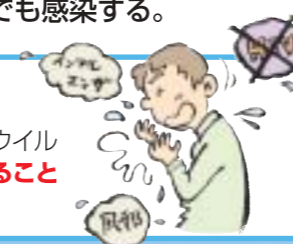
答えは×です。



問.10 HIV感染者の咳や痰でも感染する。

答えは×です。

HIVは、風邪やインフルエンザのウイルスのように、**咳や痰を介してうつることはありません。**



問.11 HIVに感染したら約6週間後にエイズを発病する。

答えは×です。

感染した人の健康状態や、免疫システムが、HIVによってどのくらいの速度で破壊されるかで発病する時期は違います。



誤解したままだと差別や偏見につながるからね。

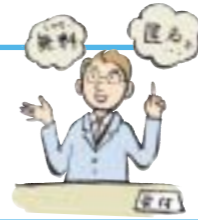
知っているつもりが、以外と間違った理解をしているわ~



問.12 HIVに感染しているかどうかを、保健所では無料で、しかも名前を名乗らずに検査を受けることができる。

答えは○です。

保健所でのHIV検査は、**無料・匿名**です。この他、エイズ治療拠点病院や一般の医療機関でも行なっています。



問.13 HIVに感染しているかどうかは、感染したと疑われる日から3ヶ月以上たってからでないと正確な判定ができない。

答えは○です。

正確な判定は感染したと疑われる日から**3ヶ月以上経たないと解りません。**しかし、3ヶ月以内でも検査・相談を受けることで、感染に関する知識・情報を得る事が出来ます。

問.14 梅毒やクラミジアなどの性病にかかっていると、当然、HIVにも感染しやすい。

答えは○です。

3~5倍かかるといわれてます。これ以外にも淋病、性器ヘルペス症などの性感染症にかかると、男性側・女性側いずれも、性器に潰瘍やただれ、傷などができやすくHIVに感染しやすくなると考えられています。

梅毒、クラミジア、淋病……

3~5倍
感染しやすい!

HIV

問.15 一回だけのセックスであればHIVに感染することはない。

答えは×です。

たった1回の無防備なセックスでもHIVに感染する可能性はあります。



問.16 風俗店で遊ばなければ、HIVに感染する心配は一応ない。

答えは×です。

正しい知識で、一人ひとりの「予防」意識を高めましょう!!

問.17 セックスによるHIV感染予防には、コンドームが一番有効である。

答えは○です。

性行為によるHIV感染を防ぐ確実な方法は、現時点では**コンドーム**を正しく着けることだけです。



問.18 世界のHIV感染者、およびエイズ患者のうち、3分の1が15~24歳の若者である。

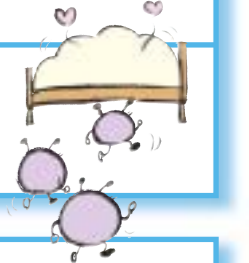
答えは○です。

若者のHIV感染が、毎年増加しています。私には関係がないと思いませんか?エイズはとても身近な病気なのです。エイズについての正しい認識と予防方法を知ってください。

問.19 正しい知識をもって行動していればHIV感染は避けられる。

答えは○です。

日常生活レベルでHIV感染を防ぐには正しい「予防」知識を持つことが大切です。



問.20 12月1日は「世界エイズデー」である。

答えは○です。



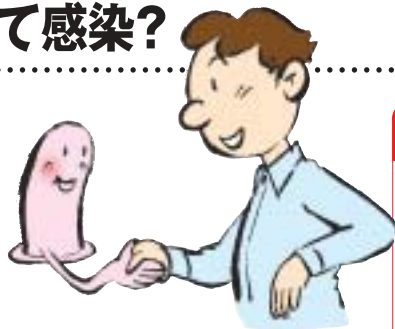
12月1日は世界エイズデーです。

世界が一つになってエイズへの正しい理解と予防に努めましょう

世界的レベルでのエイズ蔓延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として定められています。

知らない間にひょっとして感染？

HIVに感染しても、長期間自覚症状が無い場合もあるため、感染に気付かないまま相手にうつしてしまう可能性があります。今のところ性的接触での感染予防には、正しいコンドームの使用がもっとも有効といえます。



もし「感染したかも」と思ったら

早期発見は、早期治療に結びつき、病状の重症化防止に繋がります。

京都府内の最寄りの保健所で検査を受けましょう。採血によるHIV抗体検査を**無料・匿名**で実施しています。受付曜日・時間につきましては、保健所によって異なりますので、各保健所へ直接お問い合わせください。

■京都府保健所

保健所名	電話番号	所在地
乙訓保健所	075-933-1153	向日市上植野町馬立8
山城北保健所	0774-21-2191	宇治市宇治若森7-6
山城北保健所・綴喜分室	0774-63-5745	京田辺市田辺明田1
山城南保健所	0774-72-4300	相楽郡木津町木津上戸18
南丹保健所	0771-62-4751	船井郡園部町小山東町藤ノ木21
中丹西保健所	0773-22-6381	福知山市篠尾新町1-91
中丹東保健所	0773-75-0806	舞鶴市倉谷村西1499
丹後保健所	0772-62-0361	京丹後市峰山町丹波855

■京都市保健所

保健所名	電話番号	所在地
北保健所	075-432-1181	北区紫野西御所田町56
上京保健所	075-432-3221	上京区堀川通上立売下ル北舟橋町866
左京保健所	075-781-5171	左京区田中門前町1
中京保健所	075-812-0061	中京区西堀川通御池下ル西三坊堀川町521
東山保健所	075-561-1191	東山区東大路五条上ル梅林町576
山科保健所	075-592-3050	山科区榎辻池尻町14-2
下京保健所	075-371-7101	下京区西洞院通塩小路上ル東塩小路町608-8
南保健所	075-681-3111	南区西九条南田町1-2
右京保健所	075-861-2176	右京区太秦桂ヶ原町9-1
西京保健所	075-392-5690	西京区桂良町1-2
伏見保健所	075-611-1161	伏見区鷹匠町33

●京都市では夜間の検査を実施しております。[場所:京都市下京保健所 お問い合わせは:京都市地域医療課 TEL.075-222-3421]

レッドリボン運動をご存知ですか？

レッドリボンはエイズに対する理解と支援の象徴

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなで考えましょう。



京都府医師会 (感染症対策委員会)

〒604-8585 京都市中京区御前通松原下ル TEL:075-312-3671 (代表)
<ホームページ>http://www.kyoto.med.or.jp <E-mail>kma26@kyoto.med.or.jp

●発行 WINTER 2005●